

## ～「収穫祭」を5年ぶりに開催！～ 地元消費者へ日頃の感謝を込めて

**農**産物直売所た・からを運営する農事組合法人た・から（望月一三理事長 組合員109名）は11月11日、5年ぶりとなる「収穫祭」を開催した。

た・からでは旧田富町を中心に中央市に所在する農業者が自家栽培する新鮮な野菜を持ち寄り販売しており、地元はもとより幅広い地域の消費者などから長年親しまれている。地元根付いた運営を基本理念とするた・からでは、毎年春には「創業祭」、秋には「収穫祭」を開催していた。しかし、近年ではコロナ禍などによりこれらイベントの中止が余儀なくされていた。しかし、ウィズコロナ時代に入ったこの機会に、当組合では再び地元消費者との交流を図ろうと今年5年ぶりに「収穫祭」を開催するに至った。

収穫祭は、店舗に野菜を持ち寄る農業者が主体となりイベントを企画している。今回の企画では、過去のイベントで好評を得ていた中央市特産のトマトやキュウリなどの「新鮮野菜の詰め放

## 農事組合法人た・から



来場者に好評を得た新鮮トマトの詰め放題

題」、子供たちに好評な焼きそばやフランクフルトなどの売店の実施、さらに今回初めて若者や女性に人気のあるワッフルやクレープを販売

するキッチンカーの出店も行った。当日はあいにくの曇り空にもかかわらず、5年ぶりとなるた・からの収穫祭を楽しみにしていた多くのお客さまが来場しイベントを楽しむとともに、店舗でも新鮮野菜を購入するなど来場者や組合員の笑顔が絶えないイベントとなった。

望月理事長は、「久しぶりのた・からの収穫祭が、まずは無事に開催できてよかった。た・からは地元の皆さまに支えられている直売所。そうした皆さまに日頃の感謝の気持ちも届けたかった。これからも組合員一同、新鮮な野菜を皆さまに届けられるよう励んでいきたい。」と述べ、今後も地元の消費者への感謝を忘れず、地元の方々に愛される直売所づくりへの意欲を見せた。



組合員への激励を述べる  
望月中央市市長

